

第 31 回沖縄県特別支援学校中学部総合文化祭

教育長あいさつ

第 31 回沖縄県特別支援学校中学部総合文化祭が開催されるにあたり、ごあいさつを申し上げます。

本文化祭は、「特別支援学校に学ぶ中学部の生徒の芸術文化に対する関心、意欲を高め、文化活動の充実向上を促進し、豊かな創造性、情緒の涵養に努め、心身ともに健全で調和のとれた生徒の育成」を目指し、開催されます。

昨年度は、連盟にとりましては創立 30 周年という節目の年であり、その記念すべき年に、会場をこれまでの県立博物館・美術館から沖縄県総合福祉センターへ変更し、久しぶりにオープニングセレモニーを開催しました。オープニングセレモニーにおけるアトラクション部門では、宮古特別支援学校の「アイドル・ダンス」、名護特別支援学校の「ツバメダンス」が披露され、大いに盛り上がったと伺っております。

また、これまでのあゆみを映像で振り返るとともに、特別支援学校と浦添工業高校とのコラボ共同制作として、生徒イラスト入りクリアファイル、缶バッジを生徒、来賓へ記念品として配布する等、生徒の皆さんの創造力あふれる作品は多くの県民の方々に感動を与えました。

今回の総合文化祭は、「輝やけ新時代夢をえがこう私たちの未来」のテーマのもと、会場での作品展示やセレモニーのビデオ上映をはじめ、西崎特別支援学校、大平特別支援学校のみなさんによるアトラクションの映像参加もあります。生徒の皆さんが、本文化祭をおとして達成感・成就感を味わい、意欲を膨らませ、今後さらに主体的に文化活動や創作活動に取り組まれることを期待しております。

沖縄県教育委員会としましても、特別支援学校の児童生徒の皆さんが自立や社会参加に向け主体的に取り組んでいけるよう、引き続き、特別支援教育の充実を図ってまいります。

結びに、本文化祭の開催にあたり、常に生徒を温かく見守り、指導にあたられている先生方はじめ、さまざまな形で御支援くださっている関係各位に心より感謝申し上げますとともに、沖縄県特別支援学校中学部文化連盟の御発展と生徒一人ひとりの活躍を祈念し、あいさついたします。

令和 7 年 8 月 22 日

沖縄県教育長育委員会

教育委員長 半嶺 満